

▶ (54) 명칭(Title)

# INFORMATION RECORDING DEVICE AND INFORMATION REPRODUCING DEVICE

▶ (19)(13) 구분

● JP A 국가별 특허문헌코드

대표도  
(Representative Drawing)

▶ (11) 공개번호(Pub.No.)/ 일자

1997023403 (1997.01.21)

▶ (21) 출원번호(Appl.No.)/ 일자

1995169103 (1995.07.04)

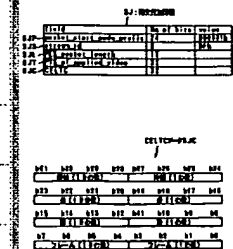
▶ (21) 관련출원번호(Appl.No.)/ 일자

2005113496 2002180843

▶ (51) 국제특허분류(Int. Cl.)

H04N 5/92; G11B 20/12; G11B 27/10

▶ (51) IPC INDEX



▶ (57) 요약(Abstract)

PROBLEM TO BE SOLVED: To multiplex a time code on a video signal without giving a burden on a device and to display accurate lapse time even in the case of interactive recording information.  
SOLUTION: The time code shows lapse time in partial recording information at the time of reproducing partial recording information obtained by dividing interactive recording information by the content type. Reproduced additional information SJ including the time code SJC which is reset at the head of partial recording information and time base information corresponding to lapse time are multiplexed at every GOP in video information in recording information so as to be recorded. Structure recording information including a start address in recording information of partial recording information and reproduction time of partial recording information its recorded in an area different from an area where partial recording information and reproduced additional information are recorded. At the time of reproduction, the video signal and the time code are multiplexed with time base information (PTS) SJC as a reference (mediation). Furthermore, a system accesses to a desired reproduction position based on structure additional information.  
COPYRIGHT: (C)1997,JPO

▼ 세부항목 숨기기 설정

※ 아래항목중 불필요한 항목이 있으시면 "세부항목숨기기 설정"을 이용하시기 바랍니다.

▶ (71) 출원인(Applicant)

PIONEER ELECTRON CORP

▶ (72) 발명자(Inventors)

TOZAKI AKIHIRO

NAKAMURA HIROSHI

▶ (30) 우선권번호(Priority No.)/ 일자

特開平9-23403

(43) 公開日 平成9年(1997)1月21日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/92			H 0 4 N 5/92	H
G 1 1 B 20/12	1 0 2	9295-5D	G 1 1 B 20/12	1 0 2
27/10			27/10	A
				A

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願平7-169103

(22) 出願日 平成7年(1995)7月4日

(71) 出願人 000005016

バイオニア株式会社

東京都目黒区目黒1丁目4番1号

(72) 発明者 戸崎 明宏

埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 バ

イオニア株式会社総合研究所内

(72) 発明者 中村 浩

埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオ

ニア株式会社所沢工場内

(74) 代理人 弁理士 石川 泰男

(54) 【発明の名称】 情報記録装置及び情報再生装置

(57) 【要約】

【課題】 装置に過度の負担を掛けずにビデオ信号にタイムコードを多重でき、かつ、対話型の記録情報であっても正確な経過時間を表示することが可能な情報記録装置及び情報再生装置を提供する。

【解決手段】 対話型記録情報をその内容種類によって分割した部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示すタイムコードであって、部分記録情報の先頭でリセットされるタイムコード S J C と、経過時間に対応する時間軸情報 (P T S) S J T とを含む再生付加情報 S J を記録情報中の映像情報における G O P 毎に多重して記録する。さらに、部分記録情報の記録情報中の開始アドレス及び部分記録情報の再生時間を含む構造記録情報を部分記録情報や再生付加情報が記録されている領域とは別の領域に記録する。再生時には、時間軸情報 (P T S) S J T を基準 (仲介) として映像信号とタイムコードを多重する。また、構造付加情報に基づき、所望の再生位置にアクセスする。

再生付加情報の説明

S J : 再生付加情報

	field	No. of bits	value
SJP-	packet_start_code_prefix	24	000001h
SJS-	stream_id	8	BFh
SJL-	PES_packet_length	16	
SJT-	PTS_of_applied_video	32	
SJC-	CELTIC	32	

(a)

CELTICデータSJC

b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
時間 (10の位)				時間 (1の位)			
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
分 (10の位)				分 (1の位)			
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
秒 (10の位)				秒 (1の位)			
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
フレーム (10の位)				フレーム (1の位)			

(b)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録情報を、予め設定された所定の内容種類に対応する時間軸に沿った関連性を有する複数の部分記録情報であって、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する部分記録情報に予め分割するとともに、前記記録情報を構成する映像情報に基づく映像信号を予め設定された圧縮単位毎に圧縮して圧縮映像信号とし、かつ、前記映像情報に対応しつつ前記記録情報を構成する音声情報に基づく音声信号と前記圧縮映像信号とを予め設定された多重単位毎にそれぞれ分割した後に前記記録情報の最初から起算された時間軸情報を付加して時間軸多重し、記録媒体に記録する情報記録装置において、外部から入力された前記記録情報に基づいて、前記音声信号と前記圧縮映像信号とを時間軸多重した信号である圧縮多重信号を出力する第1信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する前記映像情報の、前記記録情報中における位置である映像情報位置を、各圧縮単位毎に検出して位置信号を出力する第2信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記複数の部分記録情報毎に、当該部分記録情報を再生した場合の再生時間を検出し、各前記部分記録情報についての前記内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を出力する第3信号処理手段と、前記内容情報信号に基づき、各前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報と、前記経過時間に対応する前記時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加情報に対応する再生付加情報信号を出力する再生付加情報生成手段と、前記位置信号に基づき、前記圧縮多重信号内の前記圧縮単位毎に、当該圧縮単位内に含まれ、かつ、前記音声信号又は前記圧縮映像信号を含む前記多重単位とは別の前記多重単位内に、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する一の前記再生付加情報信号を多重して情報付加重圧縮信号を出力する多重手段と、前記情報付加重圧縮信号を前記記録媒体に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とする情報記録装置。

【請求項2】 記録情報を構成する映像情報に基づく映像信号を予め設定された圧縮単位毎に圧縮して圧縮映像信号とするとともに、前記映像情報に対応しつつ前記記録情報を構成する音声情報に基づく音声信号と前記圧縮映像信号とを予め設定された多重単位毎にそれぞれ分割した後に前記記録情報の最初から起算された時間軸情報を付加して時間軸多重し、記録媒体に記録する情報記録

装置において、

外部から入力された前記記録情報に基づいて、前記音声信号と前記圧縮映像信号とを時間軸多重した多重信号である圧縮多重信号を出力する第1信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する前記映像情報の、前記記録情報中における位置である映像情報位置を、各圧縮単位毎に検出して位置信号を出力する第2信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、予め設定された所定の内容種類毎に前記記録情報を予め区分した複数の部分記録情報毎に、当該部分記録情報を再生した場合の再生時間及び前記複数の部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置を検出し、各部分記録情報開始位置に対応する前記部分記録情報についての前記内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を出力する第3信号処理手段と、前記内容情報信号に基づいて、各前記部分記録情報毎の前記再生時間に対応する再生時間情報及び前記部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を生成し、当該構造付加情報に対応する構造付加情報信号を出力する構造付加情報生成手段と、前記内容情報信号に基づき、各前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報と、前記経過時間に対応する前記時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加情報に対応する再生付加情報信号を出力する再生付加情報生成手段と、前記構造付加情報信号を前記圧縮多重信号とは時間分離して前記圧縮多重信号に付加するとともに、前記位置信号に基づき、前記圧縮多重信号内の前記圧縮単位毎に、当該圧縮単位内に含まれ、かつ、前記音声信号又は前記圧縮映像信号を含む前記多重単位とは別の前記多重単位内に、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する一の前記再生付加情報信号を多重して情報付加重圧縮信号を出力する付加重手段と、前記情報付加重圧縮信号を前記記録媒体に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とする情報記録装置。

【請求項3】 請求項2に記載の情報記録装置において、

複数の前記部分記録情報は、前記記録情報中において時間軸に沿った関連性を有するとともに、少なくとも一の前記部分記録情報は、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、前記一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有することを特徴とする情報記録装置。

【請求項4】 予め設定された所定の内容種類に対応する時間軸に沿った関連性を有する複数の部分記録情報であって、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の

部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する部分記録情報に予め分割された記録情報に対して、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定された多重単位毎の前記記録情報の最初から起算された時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した記録媒体から当該再生付加情報及び前記記録情報を再生する情報再生装置であって、前記記録媒体から前記再生付加情報を検出して検出信号を出力する検出手段と、前記検出信号から、前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する抽出手段と、抽出された前記再生付加情報信号に基づき、各前記部分記録情報内の経過時間を再生順に加算して、再生された記録情報に対応する総経過時間として算出し、総経過時間信号を出力する総経過時間算出手段と、前記総経過時間信号に基づき総経過時間を表示する表示手段と、を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【請求項5】 請求項4に記載の情報再生装置において、前記記録媒体から前記記録情報及び前記再生付加情報を検出して検出信号を出力する検出手段と、前記検出信号から、前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号並びに前記記録情報を構成する映像情報に対応する映像信号を圧縮した圧縮映像信号を抽出する抽出手段と、抽出された前記圧縮映像信号を伸張して前記映像信号を出力する伸張手段と、抽出された前記再生付加情報信号及び伸張された前記映像信号に基づき、前記映像信号に含まれる前記時間軸情報に対応する前記再生付加情報信号における前記経過時間情報を前記映像信号に対応する経過時間情報として前記映像信号に多重し、経過時間情報多重映像信号を出力する経過時間情報多重手段と、を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【請求項6】 記録情報に対して、予め設定された所定の内容種類毎に前記記録情報を予め分割した部分記録情報を当該部分記録情報毎に再生した場合の再生時間に対応する再生時間情報及び複数の前記部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を付加するとともに、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定された多重単位毎の前記記録情報の最初から起算さ

れた時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した記録媒体から前記記録情報を再生する情報再生装置であって、

制御信号に基づき、前記記録媒体から前記記録情報を検出し、検出信号を出力する検出手段と、

前記検出信号から、前記構造付加情報に対応する構造付加情報信号及び前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する抽出手段と、

前記構造付加情報信号に基づき、外部から入力された前記記録情報の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる前記部分記録情報を検出する再生部分記録情報検出手段と、

前記再生付加情報信号に基づき、検出された再生部分記録情報中の前記再生位置に対応する前記記録媒体上の位置に前記検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための前記制御信号を出力する制御手段と、

を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【請求項7】 予め設定された所定の内容種類毎の部分記録情報に予め分割された記録情報であって、複数の前記部分記録情報が時間軸に沿った関連性を有し、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する記録情報に対して、複数の前記部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を付加するとともに、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定された多重単位毎の前記記録情報の最初から起算された時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した記録媒体から前記記録情報を再生する情報再生装置であって、

制御信号に基づき、前記記録媒体から前記記録情報を検出し、検出信号を出力する検出手段と、

前記検出信号から、前記構造付加情報に対応する構造付加情報信号及び前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する抽出手段と、

前記構造付加情報信号に基づき、外部から入力された前記部分記録情報の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる前記部分記録情報における部分記録情報開始位置を検出する部分記録情報開始位置検出手段と、

前記再生付加情報信号に基づき、検出された部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報中の前記再生位置に対応する前記記録媒体上の位置に前記検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための前記制御信号を出力する制御手段と、

を備えたことを特徴とする情報再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報記録装置及び情報再生装置に関し、より詳細には、映像信号を圧縮して音声信号とともに多重し、光ディスク等の記録媒体に記録する情報記録装置及び当該記録媒体から音声信号及び映像信号を再生する情報再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年では、映像情報や音声情報の記録媒体として、光ディスク、光磁気ディスク、磁気テープ等が一般的に用いられている。この内、光ディスク、光磁気ディスクについては、比較的小型（ディスク直径が12cm以下）の物がその軽便性から広く一般化している。

【0003】一方、最近のマルチメディア技術の進展とともに、これらの光ディスク、光磁気ディスクに映画等を記録したいという要請が増大している。この要請に対応するためには、上記の軽便性のよい大きさの光ディスクや光磁気ディスクに対して、長時間の映像情報及び音声情報を記録する必要がある。具体的には、直径12cmの光ディスクに対して60分以上の上映時間に対応する映画等を記録することが望まれているわけであるが、このためには、動画を含む映像情報及び対応する音声情報に対してデータ圧縮を施して記録することが必須となっている。

【0004】このデータ圧縮に用いられる圧縮方法として一般的なものに、蓄積メディア動画像符号化の国際標準化会議であるMPEG (Moving Picture Experts Group) で提案された方式（以下、MPEG方式という。）があり、映像情報の高能率符号化による圧縮方法の規格として注目されている。

【0005】ここで、MPEG方式についてその概要を説明すると、一般に、連続したフレーム画像において、一枚のフレーム画像の前後にあるフレーム画像は、互いに類似し相互関係を有している場合が多い。MPEG方式はこの点に着目し、数フレームを隔てて転送される複数のフレーム画像に基づき、当該複数のフレーム画像の間に存在する別のフレーム画像を、原画像の動きベクトル等に基づく補間演算にて生成する方式である。この場合、当該別のフレーム画像を記録する場合には、複数のフレーム画像との間における差分及び動きベクトルに関する情報を記録するだけで、再生時には、それらを参照して上記複数のフレーム画像から予測して当該別のフレーム画像を再生することが可能となる。これにより、画像の圧縮記録が可能となるのである。

【0006】ここで、MPEG方式では、他の画像を参照することなく、単独で独立再生が可能な最小単位として、GOP (Group Of Picture) という単位が用いられる。図10に、この一のGOPを構成する複数のフレー

ム画像の例を示す。図10では、一のGOPが12枚のフレーム画像から構成されているが、この内、符号

「I」で示されるフレーム画像は、Iピクチャ (Intra-coded picture : イントラ符号化画像) と呼ばれ、自らの画像のみで完全なフレーム画像を再生することができるフレーム画像をいう。また、符号「P」で示されるフレーム画像は、Pピクチャ (Predictive-coded picture : 前方予測符号化画像) と呼ばれ、既に復号化されたIピクチャ又は他のPピクチャに基づいて補償再生された予測画像との差を復号化する等して生成する予測画像である。また、符号「B」で示されるフレーム画像は、Bピクチャ (Bidirectionally predictive-coded picture : 両方向予測符号化画像) といい、既に復号化されたIピクチャ又はPピクチャのみでなく、光ディスク等に記録されている時間的に未来のIピクチャ又はPピクチャをも予測に用いて再生される予測画像をいう。図10においては、各ピクチャ間の予測関係（補間関係）を矢印で示している。

【0007】ここで、一のGOPのデータ発生量については、異なる二つの発生形態がある。図11(a)は、各GOP100毎のデータ発生量が常に一定になるよう、圧縮率等を制御して記録されたGOPである。データの発生量が一定ならば、それぞれのGOPのアドレスとデータ量とが比例関係にあるため、目標時間に対応させた当該アドレスを簡単にサーチすることができる。一方、図11(b)は、データの発生量を一定にするような制御を行わないで生成したGOPを示している。このとき、記録されたそれぞれのGOP101、102及び103においては、それぞれに含まれるデータ量が異なることとなる。今、記録された映像情報を再生した場合の発生データ量に注目すると、原画像の動きが激しい画像は、各ピクチャ間の相関が少なくなるので、相関関係を利用した効率のよい圧縮方法を十分に活用することができず、一のGOP中の発生データ量は多くなる。これに対して、原画像の動きが少ない画像は、各ピクチャ間の相関が多くなるので、相関関係を利用した効率のよい圧縮方法を多く用いることができ、一のGOP中のデータ発生量も少なくなる。図11(a)に示す方法によれば、原画像が有する動き成分の内容によらず各GOPが常に一定のデータ量とされるため、動きの激しい画像については画質が悪化するとともに、動きの少ない画像についてはデータ量に無駄が生ずることとなる。したがって、画質を均質化し、光ディスクの記録容量を効率的に使用するには、図11(b)に示す方法が好ましい。

【0008】次に、上記の方法で圧縮された映像情報を光ディスクに記録する際には、図12に示すように、圧縮等の所定の処理がされた音声情報とともに、一定データ量にパケットと呼ばれるデータ単位に時分割され、一つのデータストリームに多重化される。そして、時分割多重された映像情報及び音声情報は、上記のパケットを

単位として記録される。

【0009】このようにして記録された多重ストリームデータには、図13に示すように、再生時の同期管理及びアクセスの便宜のため、時間軸情報がパケット毎に付加される。MPEG方式においては、この時間軸情報をPTS (Presentation TimeStamp) という。PTSは、各パケットについての映像情報又は音声情報の再生時間を、 $1/90000$ 秒を一単位 (すなわち、1秒=90000PTS) として記述する。映像情報と音声情報を多重して記録する際には、図13に示すように、対応する映像パケットと音声パケットに同じPTSが記述されて記録されるので、再生装置では、このPTSを参照して、同一のPTSが記録された映像情報のパケットと音声情報のパケットとを同期させることにより対応する映像情報と音声情報を同期させて再生することができる。

【0010】一方、PTSは、再生時の情報の経過時間情報として用いることもできる。すなわち、再生開始時に光ディスクから得られたPTSを記憶しておき、再生の途中で検出されたPTSについて、再生開始時のPTSとの差を求め90000で割れば、再生開始時からの当該途中で検出されたPTSにおける経過時間が判る。

【0011】さらに、MPEG方式の光ディスクにおいては、再生における経過時間を知る方法として、上述のGOPの先頭に記述されるGOPヘッダを用いる方法がある。

【0012】この方法は、各GOPヘッダに当該GOPに該当する再生当初からの経過時間情報 (タイムコード) を記述する方法であるが、このタイムコードのフォーマットを図14に示す。

【0013】図14において、「time code hours」「time code minutes」「time code seconds」及び「time code pictures」は、それぞれタイムコードにおける「時」「分」「秒」及び「フレーム」を示しており、「marker bit」は「1」に固定とされる。

【0014】また、「drop frame flag」は、所定の分において2フレームをスキップすべきか否かを示している。このドロップフレームについて以下にその概要を示す。画像処理の分野で一般化しているNTSC (National Television System Committee) 方式の場合、フレーム周波数は29.97Hzであり、整数とならないので、1秒間のフレーム数が正確に特定できない。すなわち、時、分、秒、フレームで経過時間を表示する場合に、フレームから秒への繰り上がりが29フレームと30フレームの場合が混在する。このため、VTR (Video Tape Recorder) 等に用いられるタイムコードでは、ドロップフレームを用いて実際の表示される再生時間の調整を行っている。すなわち、タイムコードの分の桁が「0」、「10」、「20」、「30」、「40」及び「50」を除く各正分毎の開始から「00」及び「0

1」の二つのフレーム番号に対応するフレームをスキップして秒への繰り上がりを行い、タイムコードの分の桁が「0」、「10」、「20」、「30」、「40」及び「50」の場合には「00」から「29」までの30フレームで秒への繰り上がりを行うのである。この処理により、NTSC方式による正確なタイムコードの特定及び表示を行うことができる。図14においては、「drop frame flag」が「1」となっているGOPでは、上記の「00」及び「01」のフレームのスキップが行われる。

【0015】上述のような処理を施された圧縮多重信号は、一定のビットレートで光ディスクに記録されるが、ここで、再生時において、再生された映像信号や音声信号に伴う経過時間 (再生時間) を表示したり、特定の経過時間における映像をサーチする場合には、記録される圧縮多重信号に対して一定単位毎に経過時間情報を記述しておく必要がある。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、経過時間情報の記述に関して、上記の二つの方法には、以下に示すような問題点があった。

【0017】始めに、PTSに基づいて経過時間を求めるには、上述のように、再生開始時のPTSを記憶しておき、再生の途中で検出されたPTSから再生開始時のPTSを引いてその差を90000で割るという処理が必要になる。また、連続再生する場合には、 $90000 / (30 / 1.001) = 3003$  (PTS)

より、3003PTS毎に一フレームを増加するという処理が必要である。ここで、 $(30 / 1.001)$ は、NTSC方式における正確なフレーム周波数を示し、3003PTSは1フレーム再生されるのに必要な時間に相当する。更にこれに加えて、フレームから秒への繰り上がり時には上述のドロップフレームを加味して処理を行う必要があり、これらの処理の必要性から再生装置を構成する信号処理コントローラへの負担が大きいという問題点があるのである。

【0018】一方、GOPヘッダに記述されたタイムコード (図14参照) に基づいて経過時間を算出する場合には、各GOP単位でタイムコードが容易に得られるが、得られたタイムコードを再生されたビデオ信号のどのフレームに対応させるかを判断する際、以下の問題点がある。

【0019】ここで、この問題点を説明するために、従来技術の再生装置における信号処理部の動作について、図15を用いて説明する。図15に示すように、従来技術の再生装置における信号処理部S'においては、始めに、図示しない復調部からの復調信号S<sub>L</sub>がシステムデコーダ110に入力される。このとき、復調信号S<sub>L</sub>には、映像信号 (ビデオ信号) と音声信号 (オーディオ信

号)が多重されている。そして、システムデコーダ110は、復調信号 $S_L$ から各種ヘッダを抽出し、更に、ビデオ信号 $S_V$ とオーディオ信号 $S_U$ とに分離する。このとき、ビデオ信号 $S_V$ とオーディオ信号 $S_U$ は圧縮されたままの状態である。このビデオ信号 $S_V$ とオーディオ信号 $S_U$ は、それぞれ個別にオーディオデコーダ111とビデオデコーダ112に出力され、それぞれ伸張処理が施されてオーディオ伸張信号 $S_{AE}$ 及びビデオ伸張信号 $S_{VE}$ として出力される。ここで、ビデオデコーダ112では、各GOPからGOPヘッダ $H_G$ が抽出される。そして、オーディオ伸張信号 $S_{AE}$ は、D/Aコンバータ113に出力されてD/A変換され、出力音声信号 $S_{AO}$ として出力されて図示しない所定のアンプ等により音声として出力される。一方、ビデオ伸張信号 $S_{VE}$ は多重部114に出力され、後述の再生タイムコード $T_T'$ と多重されてビデオ多重信号 $S_{VT}$ としてD/Aコンバータ115に出力されてD/A変換され、出力映像信号 $S_{VO}$ として図示しないモニタ等に表示される。

【0020】これらの処理と並行して、システムデコーダ110は、各種ヘッダを抽出する際に、パケット内のPTSを取りだし、PTS信号 $S_T$ として信号処理コントローラ116に出力する。そして、信号処理コントローラ116は、システムデコーダ110で抽出されたオーディオ信号及びビデオ信号におけるそれぞれのPTSを参照して、オーディオ信号及びビデオ信号の同期を取るべく(図13参照)、オーディオスタート信号 $S_{AS}$ 及びビデオスタート信号 $S_{VS}$ を出力する。オーディオデコーダ111及びビデオデコーダ112では、これらのオーディオスタート信号 $S_{AS}$ 及びビデオスタート信号 $S_{VS}$ に基づいて、オーディオ伸張信号 $S_{AE}$ 及びビデオ伸張信号 $S_{VE}$ を出力することにより、オーディオ伸張信号 $S_{AE}$ とビデオ伸張信号 $S_{VE}$ の同期を取る。また、信号処理コントローラ116は、ビデオデコーダ112で抽出されたGOPヘッダ $H_G$ に基づき、それに含まれる再生タイムコード $T_T'$ を多重部114に出力し、ビデオ伸張信号 $S_{VE}$ と多重する。

【0021】上述の動作において、再生タイムコード $T_T'$ をビデオ伸張信号 $S_{VE}$ に含まれるどのフレームに対応させて多重するかを判断するに際しては、オーディオ信号とビデオ信号の双方の再生時間を規定するPTSに基づき多重することが必要となる。ところが、上記PTSは、システムデコーダ110により取り出されるので、再生タイムコード $T_T'$ を正確にビデオ伸張信号 $S_{VE}$ に多重するためには、信号処理コントローラ116が常に最新のPTSを記憶しておき、GOPヘッダ $H_G$ とともに、それに含まれる再生タイムコード $T_T'$ が出力される度にその直前のPTSを読み取り、その値に基づいて再生タイムコード $T_T'$ を出力する必要があるが、この処理をGOPヘッダ $H_G$ が出力される度に処理することは、信号処理コントローラ116に対して大きな負

担となるという問題点があるのである。

【0022】更に、また、経過時間を表示するに際しては、映像信号又は音声信号の内容その物に起因する以下の問題点もある。従来技術においては、上記のPTS又はGOPヘッダのタイムコードは、記録情報の内容に拘らず、当該記録情報の最初から連番で付与されていた。

【0023】ところで、映像信号及び音声信号を含む記録すべき記録情報をその内容に応じて複数の部分記録情報に分割する際、当該部分記録情報相互間に時間軸に沿って図16(a)に示すような対話型の関連性がある場合がある。図16(a)に示す例では、始めに、「問題1」を示す映像及び音声は動画又は静止画として出力される。そして、使用者が答えを入力してそれが正解であった場合には、「正解1」を示す映像及び音声は出力され、使用者が正解でない答えを入力した場合には、「間違い1」を示す映像及び音声は出力される。そして、

「正解1」又は「間違い1」を出力した後に、次の「問題2」を示す映像及び音声は出力されるものとする。この際、「間違い1」の画面は、どこが間違ったか等を示すために「正解1」の画面より長く表示される。このような構成の記録情報に対応するビデオ信号及びオーディオ信号を記録する場合には、図16(b)に示すような一連の多重圧縮信号となり、使用者の入力した答えによって、「正解1」又は「間違い1」にジャンプすることとなる。ところが、「正解1」に対応する部分記録情報121と、「間違い1」に対応する部分記録情報122の長さが異なるため、「正解1」を経由して「問題2」に至るときの当該「問題2」の先頭における記録情報当初からの経過時間と、「間違い1」を経由して「問題2」に至るときの「問題2」の先頭における記録情報当初からの経過時間とは、経過時間が異なるので、経過時間情報として、図16(b)に示す多重圧縮信号に対して記録情報当初から起算されて付与された連番の経過時間情報(PTS又はGOPヘッダにおけるタイムコード)を用いることができないという問題点があるのである。

【0024】そこで、本発明は、上記の各問題点に鑑みてなされたもので、その目的は、再生装置を構成する信号処理コントローラに過度の負担を掛けることなくビデオ伸張信号にタイムコードを多重することが可能であるとともに、対話型の記録情報であっても正確な経過時間を表示することが可能な情報記録装置及び情報再生装置を提供することにある。

【0025】

【課題を解決するための手段】上記の問題点を解決するために、請求項1に記載の発明は、記録情報を、予め設定された所定の内容種類に対応する時間軸に沿った関連性を有する複数の部分記録情報であって、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連



統する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する部分記録情報に予め分割するとともに、前記記録情報を構成する映像情報に基づく映像信号を予め設定されたGOP等の圧縮単位毎に圧縮して圧縮映像信号とし、かつ、前記映像情報に対応しつつ前記記録情報を構成する音声情報に基づく音声信号と前記圧縮映像信号とを予め設定されたパケット等の多重単位毎にそれぞれ分割した後に前記記録情報の最初から起算されたPTS等の時間軸情報を付加して時間軸多重し、光ディスク等の記録媒体に記録する情報記録装置において、外部から入力された前記記録情報に基づいて、前記音声信号と前記圧縮映像信号とを時間軸多重した信号である圧縮多重信号を出力する信号処理部等の第1信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する前記映像情報の、前記記録情報中における位置である映像情報位置を、各圧縮単位毎に検出して位置信号を出力する信号処理部等の第2信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記複数の部分記録情報毎に、当該部分記録情報を再生した場合の再生時間を検出し、各前記部分記録情報についての前記内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を出力する信号処理部等の第3信号処理手段と、前記内容情報信号に基づき、各前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報と、前記経過時間に対応する前記時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加情報に対応する再生付加情報信号を出力するコントローラ等の再生付加情報生成手段と、前記位置信号に基づき、前記圧縮多重信号内の前記圧縮単位毎に、当該圧縮単位内に含まれ、かつ、前記音声信号又は前記圧縮映像信号を含む前記多重単位とは別の前記多重単位内に、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する一の前記再生付加情報信号を多重して情報多重圧縮信号を出力する多重器、コントローラ等の多重手段と、前記情報多重圧縮信号を前記記録媒体に記録するマスタリング装置等の記録手段と、を備えて構成される。

【0026】請求項1に記載の発明の作用によれば、第1信号処理手段は、外部から入力された記録情報に基づいて、圧縮多重信号を多重手段に出力する。一方、第2信号処理手段は、外部から入力された記録情報に基づいて、映像情報位置を各圧縮単位毎に検出して位置信号を多重手段に出力する。

【0027】これらと並行して、第3信号処理手段は、外部から入力された記録情報に基づいて、複数の部分記録情報毎に、当該部分記録情報を再生した場合の再生時間を検出し、各部分記録情報についての内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を再生付加情報生成手段に出力する。

【0028】そして、再生付加情報生成手段は、内容情

報信号に基づき、部分記録情報内の経過時間に対応する経過時間情報と当該経過時間に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加信号に対応する再生付加情報信号を多重手段に出力する。

【0029】これらにより、多重手段は、圧縮多重信号内の圧縮単位毎に、当該圧縮単位内に含まれ、かつ、音声信号又は圧縮映像信号を含む多重単位とは別の多重単位内に、圧縮単位に含まれる映像信号に対応する一の再生付加情報信号を多重して情報多重圧縮信号を記録手段に出力する。

【0030】そして、記録手段は、情報多重圧縮信号を記録媒体に記録する。よって、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報が記録情報とともに記録されるので、再生時において、復調され伸張された映像情報に対する経過時間情報の多重が容易になる。

【0031】また、経過時間情報が、各部分記録情報毎にその先頭でリセットされているので、部分記録情報を記録順序と異なる順序で再生する場合でも、各部分記録情報における経過時間情報を加算することにより、再生された記録情報全体に対応した正しい総経過時間情報を表示することができる。

【0032】上記の問題点を解決するために、請求項2に記載の発明は、記録情報を構成する映像情報に基づく映像信号を予め設定されたGOP等の圧縮単位毎に圧縮して圧縮映像信号とするとともに、前記映像情報に対応しつつ前記記録情報を構成する音声情報に基づく音声信号と前記圧縮映像信号とを予め設定されたパケット等の多重単位毎にそれぞれ分割した後に前記記録情報の最初から起算されたPTS等の時間軸情報を付加して時間軸多重し、光ディスク等の記録媒体に記録する情報記録装置において、外部から入力された前記記録情報に基づいて、前記音声信号と前記圧縮映像信号とを時間軸多重した多重信号である圧縮多重信号を出力する信号処理部等の第1信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する前記映像情報の、前記記録情報中における位置である映像情報位置を、各圧縮単位毎に検出して位置信号を出力する信号処理部等の第2信号処理手段と、前記記録情報に基づいて、予め設定された所定の内容種類毎に前記記録情報を予め区分した複数の部分記録情報毎に、当該部分記録情報を再生した場合の再生時間及び前記複数の部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置を検出し、各部分記録情報開始位置に対応する前記部分記録情報についての前記内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を出力する信号処理部等の第3信号処理手段と、前記内容情報信号に基づいて、各前記部分記録情報毎の前記再生時間に対応する再生時間情報及び前記部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報



を生成し、当該構造付加情報に対応する構造付加情報信号を出力するコントローラ等の構造付加情報生成手段と、前記内容情報信号に基づき、各前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報と、前記経過時間に対応する前記時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加情報に対応する再生付加情報信号を出力するコントローラ等の再生付加情報生成手段と、前記構造付加情報信号を前記圧縮多重信号とは時間分離して前記圧縮多重信号に付加するとともに、前記位置信号に基づき、前記圧縮多重信号内の前記圧縮単位毎に、当該圧縮単位内に含まれ、かつ、前記音声信号又は前記圧縮映像信号を含む前記多重単位とは別の前記多重単位内に、前記圧縮単位に含まれる前記映像信号に対応する一の前記再生付加情報信号を多重して情報付加重圧縮信号を出力する多重器、コントローラ等の付加重圧縮手段と、前記情報付加重圧縮信号を前記記録媒体に記録するマスタリング装置等の記録手段と、を備えて構成される。

【0033】請求項2に記載の発明の作用によれば、第1信号処理手段は、外部から入力された記録情報に基づいて圧縮多重信号を付加重圧縮手段に出力する。一方、第2信号処理手段は、記録情報に基づいて映像情報位置を各圧縮単位毎に検出して位置信号を付加重圧縮手段に出力する。

【0034】これらと並行して、第3信号処理手段は、記録情報に基づいて、複数の部分記録情報毎に当該部分記録情報を再生した場合の再生時間及び前記複数の部分記録情報の各々の部分記録情報開始位置を検出し、各部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報についての内容種類とともに内容情報を構成し、当該内容情報に対応する内容情報信号を構造付加情報生成手段及び再生付加情報生成手段に出力する。

【0035】そして、構造付加情報生成手段は、内容情報信号に基づいて、各部分記録情報毎の再生時間に対応する再生時間情報及び部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を生成し、当該構造付加情報に対応する構造付加情報信号を付加重圧縮手段に出力する。

【0036】また、再生付加情報生成手段は、内容情報信号に基づき、部分記録情報内の経過時間に対応する経過時間情報と、当該経過時間に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報を生成し、当該再生付加情報に対応する再生付加情報信号を付加重圧縮手段に出力する。

【0037】これらにより、付加重圧縮手段は、構造付加情報信号を圧縮多重信号とは時間分離して圧縮多重信号に付加するとともに、位置信号に基づき、圧縮多重信号内の圧縮単位毎に、音声信号又は圧縮映像信号を含む多重単位とは別の多重単位内に、圧縮単位に含まれる映像信号に対応する一の再生付加情報信号を多重して情報付

加重圧縮信号を出力する。

【0038】その後、記録手段は、情報付加重圧縮信号を記録媒体に記録する。よって、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報並びに部分記録情報毎の再生時間及び記録情報中の部分記録情報開始位置を含む構造付加情報が記録情報とともに記録されるので、再生時に、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生すべき再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0039】上記の問題点を解決するために、請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の情報記録装置において、複数の前記部分記録情報は、前記記録情報中において時間軸に沿った関連性を有するとともに、少なくとも一の前記部分記録情報は、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、前記一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有するように構成される。

【0040】請求項3に記載の発明の作用によれば、請求項2に記載の発明の作用に加えて、複数の部分記録情報は、記録情報中において時間軸に沿った関連性を有するとともに、少なくとも一の部分記録情報は、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき関連性を有している。この場合に、再生付加情報中の経過時間情報が各部分記録情報の先頭でリセットされているので、再生時において、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0041】上記の問題点を解決するために、請求項4に記載の発明は、予め設定された所定の内容種類に対応する時間軸に沿った関連性を有する複数の部分記録情報であって、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する部分記録情報に予め分割された記録情報に対して、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定されたパケット等の多重単位毎の前記記録情報の最初から起算されたPTS等の時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した光ディスク等の記録媒体から当該再生付加情報及び前記記録情報を再生する情報再生装置であって、前記記録媒体から前記再生付加情報を検出して検出信号を出力する光ピックアップ等

の検出手段と、前記検出信号から、前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する復調器等の抽出手段と、抽出された前記再生付加情報信号に基づき、各前記部分記録情報内の経過時間を再生順に加算して、再生された記録情報に対応する総経過時間として算出し、総経過時間信号を出力するコントローラ等の総経過時間算出手段と、前記総経過時間信号に基づき総経過時間を表示する表示部等の表示手段と、を備えて構成される。

【0042】請求項4に記載の発明の作用によれば、検出手段は、記録媒体から再生付加情報を検出して検出信号を抽出手段に出力する。そして、抽出手段は、検出信号から再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出し、総経過時間算出手段に出力する。

【0043】その後、総経過時間算出手段は、抽出された再生付加情報信号に基づき、各部分記録情報内の経過時間を再生順に加算して、再生された記録情報に対応する総経過時間として算出し、総経過時間信号を表示手段に出力する。

【0044】これにより、表示手段は、総経過時間信号に基づき総経過時間を表示する。よって、経過時間情報が各部分記録情報毎にその先頭でリセットされ、部分記録情報の再生順に加算されて総経過時間として表示されるので、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも再生された記録情報全体に対応した正しい総経過時間を表示することができる。

【0045】上記の問題点を解決するために、請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の情報再生装置において、光ディスク等の前記記録媒体から前記記録情報及び前記再生付加情報を検出して検出信号を出力する光ピックアップ等の検出手段と、前記検出信号から、前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号並びに前記記録情報を構成する映像情報に対応する映像信号を圧縮した圧縮映像信号を抽出する復調器等の抽出手段と、抽出された前記圧縮映像信号を伸張して前記映像信号を出力するビデオデコーダ等の伸張手段と、抽出された前記再生付加情報信号及び伸張された前記映像信号に基づき、前記映像信号に含まれる前記時間軸情報に対応する前記再生付加情報信号における前記経過時間情報を前記映像信号に対応する経過時間情報として前記映像信号に多重し、経過時間情報多重映像信号を出力する多重部、信号処理コントローラ等の経過時間情報多重手段と、を備えて構成される。

【0046】請求項5に記載の発明の作用によれば、請求項4に記載の発明の作用に加えて、検出手段は、記録媒体から記録情報及び再生付加情報を検出して検出信号を抽出手段に出力する。

【0047】抽出手段は、検出信号から再生付加情報信号を抽出して経過時間情報多重手段に出力するとともに、検出信号から圧縮映像信号を抽出して伸張手段に出力する。

【0048】そして、伸張手段は、抽出された圧縮映像信号を伸張して映像信号を経過時間情報多重手段に出力する。その後、経過時間情報多重手段は、再生付加情報信号及び映像信号に基づき、時間軸情報に対応する経過時間情報を映像信号に対応する経過時間情報として映像信号に多重し、経過時間情報多重映像信号を出力する。

【0049】よって、再生付加情報に含まれる経過時間情報が、対応する時間軸情報に基づき伸張された映像信号に多重されるので、映像信号と経過時間情報との多重を容易に行うことができる。

【0050】上記の問題点を解決するために、請求項6に記載の発明は、記録情報に対して、予め設定された所定の内容種類毎に前記記録情報を予め分割した部分記録情報を当該部分記録情報毎に再生した場合の再生時間に対応する再生時間情報及び複数の前記部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を付加するとともに、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定されたパケット等の多重単位毎の前記記録情報の最初から起算されたPTS等の時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した光ディスク等の記録媒体から前記記録情報を再生する情報再生装置であって、制御信号に基づき、前記記録媒体から前記記録情報を検出し、検出信号を出力する光ピックアップ等の検出手段と、前記検出信号から、前記構造付加情報に対応する構造付加情報信号及び前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する復調等の抽出手段と、前記構造付加情報信号に基づき、外部から入力された前記記録情報の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる前記部分記録情報を検出するコントローラ等の再生部分記録情報検出手段と、前記再生付加情報信号に基づき、抽出された再生部分記録情報中の前記再生位置に対応する前記記録媒体上の位置に前記検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための前記制御信号を出力するコントローラ等の制御手段と、を備えて構成される。

【0051】請求項6に記載の発明の作用によれば、検出手段は、制御信号に基づき、再生付加情報が多重されるとともに構造付加情報が付加された記録情報を検出し、検出信号を抽出手段に出力する。

【0052】そして、抽出手段は、検出信号から構造付加情報に対応する構造付加情報信号を抽出して再生部分記録情報検出手段に出力するとともに、再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出し、制御手段に出力する。

【0053】その後、再生部分記録情報検出手段は、構造付加情報信号に基づき、外部から入力された記録情報

の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる部分記録情報を検出し、制御手段に出力する。

【0054】そして、制御手段は、再生付加情報信号に基づき、検出された再生部分記録情報中の再生位置に対応する記録媒体上の位置に検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための上記制御信号を出力する。

【0055】よって、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報並びに部分記録情報毎の再生時間及び記録情報中の部分記録情報開始位置を含む構造付加情報が記録情報とともに検出されるので、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生すべき再生位置が外部から入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0056】上記の問題点を解決するために、請求項7に記載の発明は、予め設定された所定の内容種類毎の部分記録情報に予め分割された記録情報であって、複数の前記部分記録情報が時間軸に沿った関連性を有し、少なくとも一の前記部分記録情報が、当該一の部分記録情報と連続しない不連続部分記録情報を、当該一の部分記録情報に連続する連続部分記録情報に先立って再生すべき前記関連性を有する記録情報に対して、複数の前記部分記録情報の前記記録情報中における各々の部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報開始位置情報を含む構造付加情報を付加するとともに、前記部分記録情報の再生時における当該部分記録情報内の経過時間を示す経過時間情報であって、前記部分記録情報の先頭でリセットされる経過時間情報及び前記部分記録情報内の経過時間に対応する予め設定されたパケット等の多重単位毎の前記記録情報の最初から起算されたPTS等の時間軸情報を含む再生付加情報を多重して記録した光ディスク等の記録媒体から前記記録情報を再生する情報再生装置であって、制御信号に基づき、前記記録媒体から前記記録情報を検出し、検出信号を出力する光ピックアップ等の検出手段と、前記検出信号から、前記構造付加情報に対応する構造付加情報信号及び前記再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出する復調器等の抽出手段と、前記構造付加情報信号に基づき、外部から入力された前記部分記録情報の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる前記部分記録情報における部分記録情報開始位置を検出するコントローラ等の部分記録情報開始位置検出手段と、前記再生付加情報信号に基づき、検出された部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報中の前記再生位置に対応する前記記録媒体上の位置に前記検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための前記制御信号を出力するコントローラ等の制御手段と、を備えて構成される。

【0057】請求項7に記載の発明の作用によれば、検出手段は、制御信号に基づき、再生付加情報が多重されるとともに構造付加情報が付加された記録情報を検出し、検出信号を抽出手段に出力する。

【0058】そして、抽出手段は、検出信号から構造付加情報に対応する構造付加情報信号を抽出して部分記録情報開始位置検出手段に出力するとともに、再生付加情報に対応する再生付加情報信号を抽出して制御手段に出力する。

【0059】その後、部分記録情報開始位置検出手段は、構造付加情報信号に基づき、外部から入力された部分記録情報の再生開始位置を起算点とした再生すべき再生位置が含まれる部分記録情報における部分記録情報開始位置を検出し、制御手段に出力する。

【0060】そして、制御手段は、再生付加情報信号に基づき、検出された部分記録情報開始位置に対応する部分記録情報中の再生位置に対応する記録媒体上の位置に検出手段を移送し、当該再生位置に対応する部分記録情報を再生するための上記制御信号を出力する。

【0061】よって、記録情報の再生において、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも、再生付加情報中の経過時間情報が各部分記録情報の先頭でリセットされているので、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

#### 【0062】

【発明の実施の形態】次に、本発明に好適な実施形態について、図面に基いて説明する。なお、以下の実施例は、本発明を情報記録媒体としての光ディスクに対して情報を記録する情報記録装置及び当該情報記録装置により記録情報が記録された光ディスクから記録情報を再生する情報再生装置に対して適用した場合について説明する。

#### (I) 情報記録装置

始めに、請求項1乃至3に記載の発明に対応する情報記録装置の構成及び動作について、図1乃至図5を用いて説明する。

【0063】まず、実施形態に係る情報記録装置の構成について、図1を用いて説明する。図1に示すように、実施形態に係る情報記録装置S<sub>1</sub>は、記録すべき音声情報や映像情報等の記録情報を一時的に記録するVTR1と、当該記録情報をその内容種類毎の部分記録情報に予め区分し、それぞれの部分記録情報に対応する内容種類とともに記録情報中における当該部分記録情報毎の開始時間が記載されたキューシートSTに基づき予め入力された内容信号であって、上記の内容種類とそれぞれの内容種類に対応する部分記録情報の開始時間よりなる内容信号を記憶するメモリ2と、VTR1から出力された音

声情報や映像情報をA/D変換した後、MPEG方式によりGOP毎に圧縮処理し、パケット単位で音声情報と映像情報とを時間軸多重して圧縮多重信号 $S_R$ として出力するとともに、VTR1から出力される上記記録情報に対応したタイムコード $T_T$ 及びメモリ2から出力される内容信号 $S_I$ に基づき、各GOPの記録情報における開始位置を示す位置信号 $S_P$ を出力し、更に、上記タイムコード $T_T$ 及びメモリ2から出力される内容信号 $S_I$ に基づき、各部分記録情報毎の当該部分記録情報を再生した場合の再生時間及び各部分記録情報の記録情報における部分記録情報開始アドレスを検出し、対応する内容種類とともに内容情報を生成し、内容情報信号 $S_{AC}$ を出力する信号処理部3と、圧縮多重信号 $S_R$ を一時的に記憶するハードディスク装置4と、内容情報信号 $S_{AC}$ 及び位置信号 $S_P$ を一時的に記録するフレキシブルディスク(FD)装置5と、情報記録装置 $S_I$ 全体の制御を行うとともに、ハードディスク装置4から読み出された圧縮多重信号 $S_R$ 並びにFD装置5から読み出された内容情報信号 $S_{AC}$ 及び位置信号 $S_P$ に基づき、各部分記録情報の再生時間及び記録情報中の開始アドレスを含む構造付加情報並びに各部分記録情報中の再生時における経過時間と当該経過時間において再生される映像情報のPTSを含む再生付加情報を生成し、これらの構造付加情報と再生付加情報により付加情報を形成して付加情報信号 $S_A$ を出力し、更に、上記構造付加情報を圧縮多重信号 $S_R$ と時間分離して光ディスクに記録するとともに上記再生付加情報を上記圧縮多重信号 $S_R$ 中における各GOPの先頭に時間軸多重するための情報選択信号 $S_C$ を出力するコントローラ6と、情報選択信号 $S_C$ に基づき、付加情報信号 $S_A$ 中の構造付加情報を圧縮多重信号 $S_R$ と時間分離して当該圧縮多重信号 $S_R$ に付加するとともに、付加情報信号 $S_A$ 中の再生付加情報を圧縮多重信号 $S_R$ 中における各GOPの先頭に時間軸多重して情報付加重圧縮信号 $S_{AP}$ を出力する付加重重手段(多重手段)としての多重器7と、当該情報付加重圧縮信号 $S_{AP}$ に対して、例えば、リードソロモン符号等のエラー訂正コード(ECC)の付加及び8-15変調等の変調を施してディスク記録信号 $S_M$ を生成する変調器8と、当該ディスク記録信号 $S_M$ を光ディスクを製造する際のマスタ(抜き型)となるスタンパディスクDKSに対して記録する記録手段としてのマスタリング装置9と、により構成されている。

【0064】ここで、上記の構成における信号処理部3が、第1信号処理手段、第2信号処理手段及び第3信号処理手段として機能し、コントローラ6が、構造付加情報生成手段、再生付加情報生成手段、付加重重手段及び多重手段として機能する。

【0065】次に情報記録装置 $S_I$ の動作を説明する。VTR1に一時的に記録された記録情報(音声情報及び映像情報)は、信号処理部3においてA/D変換された

後、MPEG方式により圧縮処理され、時間軸多重されて圧縮多重信号 $S_R$ となり、ハードディスク装置4に一時的に記憶される。

【0066】これと並行して、キューシートSTの記載に基づいて入力されメモリ2に記憶されている部分記録情報毎の内容種類と開始時間を含む内容信号 $S_I$ に基づき、信号処理部3において、VTR1から入力されたタイムコード $T_T$ を参照して各GOPの記録情報における開始位置を示す位置信号 $S_P$ が出力され、更に、各部分記録情報毎の当該部分記録情報を再生した場合の再生時間及び各部分記録情報の記録情報における部分記録情報開始アドレスが検出され、対応する内容種類とともに内容情報とされ、対応する内容情報信号 $S_{AC}$ が出力されて位置信号 $S_P$ とともにFD装置5に一時的に記憶される。以上の処理が記録情報全体について実行される。

【0067】記録情報の全てについて上記の処理が終了すると、コントローラ6は、ハードディスク装置4から圧縮多重信号 $S_R$ を読み出すとともにFD装置5から内容情報信号 $S_{AC}$ 及び位置信号 $S_P$ を読み出し、構造付加情報及び再生付加情報を生成して付加情報とし、当該付加情報に対応する付加情報信号 $S_A$ を出力する。構造付加情報及び再生付加情報の内容については後述する。

【0068】その後、圧縮多重信号 $S_R$ が付加情報信号 $S_A$ と多重される。このとき、構造付加情報に対応する構造付加情報信号は圧縮多重信号 $S_R$ とは時間分離され、スタンパディスクDKSの最内周部(リードインエリア)に、圧縮多重信号 $S_R$ とは別に記録されるように当該圧縮多重信号 $S_R$ に付加される。一方、再生付加情報に対応する再生付加情報信号は、圧縮多重信号 $S_R$ における各GOPの先頭に、当該GOPに含まれる映像情報及び音声情報を含むパケットとは別のパケットに時間軸多重される。このように圧縮多重信号 $S_R$ が付加情報信号 $S_A$ とを多重(付加)することにより、情報付加重圧縮信号 $S_{AP}$ が生成される。そして、情報付加重圧縮信号 $S_{AP}$ に対して変調器8によりリードソロモン符号等のエラー訂正コード(ECC)の付加及び8-15変調等の変調が施され、マスタリング装置9により変調されたディスク記録信号 $S_M$ がスタンパディスクDKSに対して記録される。そして、このスタンパディスクDKSを用いて図示しないレプリケーション装置により、一般に市販されるレプリカディスクとしての光ディスクが製造される。

【0069】次に、コントローラ6において生成される構造付加情報及び再生付加情報について図2乃至図5を用いて説明する。始めに、構造付加情報について図2を用いて説明する。

【0070】図2(a)に示すように、構造付加情報IJは、各部分記録情報(図16参照)毎のそれぞれの総再生時間が記述された再生時間データIJTと、各部分記録情報毎のそれぞれの記録情報における開始アドレ

スが記述された開始アドレスデータ I J S により構成され、この構造付加情報 I J に対応する構造付加情報信号が、上述のように、圧縮多重信号  $S_R$  とは時間分離して、図 2 (b) に示すようにスタンパディスク D K S の最内周部の構造付加情報領域に記録される。

【0071】次に、再生付加情報について、図 3 乃至図 5 を用いて説明する。まず、再生付加情報の構造について図 3 を用いて説明する。上述のように、再生付加情報 S J は、圧縮多重信号  $S_R$  中の映像信号及び音声信号とは別のパケット（当該パケットのストリーム I D が M P E G 方式における private stream2 であるもの）に格納され、その構造は、図 3 (a) に示すように、paket start code prefix データ S J P と、stream id データ S J S と、PES packet length データ S J L と、PTS of applied video データ S J T と、CELTC データ S J C により構成されている。ここで、paket start code prefix データ S J P、stream id データ S J S 及び PES packet length データ S J L の 6 バイトのデータは、M P E G 方式により記述すべき内容が固定されている private stream2 のパケットヘッダである。そして、それ以外の部分のデータを使用者が自由に使用することができるように規定されており、本実施例では、PTS of applied video データ S J T（以下、PTS データ S J T という。）と、CELTC データ S J C を記述する。ここで、PTS データ S J T は、CELTC データ S J C に記述されている経過時間（各部分記録情報内における経過時間であり、当該部分記録情報の先頭でリセットされて「0」となるものである。）において再生されるべき映像情報の PTS が記述されている。また、CELTC データ S J C には、上述のように、各部分記録情報内における経過時間であり、当該部分記録情報の先頭でリセットされて「0」となる経過時間が記述されている。ここで、CELTC データ S J C の構造について更に詳しく説明すると、図 3 (b) に示すようになる。すなわち、時、分、秒、フレームの各データについてそれぞれ 10 の位と 1 の位を分離し、それぞれに対し 4 ビットが割当てられ、全体として 32 ビットとなる。

【0072】次に、この再生付加情報 S J を圧縮多重信号  $S_R$  に多重したときのデータストリームの構造について、図 4 及び図 5 を用いて詳述する。従来技術において述べたように、通常、映像情報を圧縮して圧縮映像信号 P V を生成する場合には、各 GOP の長さ（データ量）は、図 4 (a) に示すようにそれぞれに含まれるピクチャのデータ量によって可変とされる。そして、図 4 (b) に示すように、一の GOP には複数の I ピクチャ、B ピクチャ等が含まれ、それぞれのピクチャのデータ量も異なっている。ここで、圧縮映像信号 P V を音声信号と時間軸多重する際には、上述のように、圧縮映像信号 P V を一定データ量の多重単位であるパケットに分割する。その様子を図 4 (c) に示す。図 4 (c) にお

いて、GOP 中の点線は各ピクチャの境界部を示す。各パケット P には、それぞれパケットヘッダ P H が付加されるが、一のパケット中で一のピクチャが開始される時には、そのパケットヘッダ P H に該当するピクチャの PTS を記述することができる。図 4 (c) の場合には、第 1 番目のパケット P と第 3 番目のパケット P にそれぞれ対応する PTS が記述することができるが、本実施例では、各 GOP の先頭のパケット P にのみ PTS を記述することとする。

【0073】また、図 4 (c) 中符号 S F で示される部分は、スタッフィングによりデータが追加された部分を示している。ここで、スタッフィングとは、パケット P 内におけるデータ量合わせのために例えば「F F h (h は 1.6 進数を示す。)」等の実際の映像データに無関係なデータを追加することをいう。図 4 (c) に示す例では、各 GOP 毎にパケット P 内のデータ量に満たない部分に対してスタッフィングが行われている。

【0074】以上の処理が施された映像信号が音声信号と多重され、圧縮多重信号  $S_R$  となる。なお、これまで説明した処理は、信号処理部 3 において実行されるが、これらの処理により、GOP の先頭とパケット P の先頭が常に一致するようになり、GOP の先頭に対応するパケット P には、図 5 (a) に示すように、その GOP 内の最初のピクチャの PTS（図 5 (a) 中、符号 PTS 1、PTS 2 で示す。）が記述される。

【0075】ここで、フレーム周波数を 29.97 (30/1.001) Hz とすると、図 5 (a) における  $PTS_n$  と  $PTS_{n+1}$  との差は、GOP を構成するフレーム数を 15 フレームとすると、 $90000 / (30 / 1.001) \times 15 = 45045$  となり、図 5 (a) におけるそれぞれの PTS が、対応する GOP における先頭ピクチャの、再生時における表示時間に対応することとなる。

【0076】一方、音声情報については、例えば、圧縮単位を音声ユニットとし、その音声ユニット毎に上記と同様の処理を行う。ここで、本実施例では、音声情報には GOP という概念がないので、パケット P 内で音声ユニットが始まる時に、そのパケットヘッダ P H 内に PTS を記述するものとする。

【0077】また、本実施例の再生付加情報 S J は、図 5 (b) に示すように、各 GOP 毎に、映像情報や音声情報を含むパケットとは別の付加パケット P D を設けて記述（時間軸多重）され、そのパケットヘッダ P H には、当該付加パケット P D が属する GOP に記述される PTS（GOP 内の最初のピクチャの PTS）が記述される。

【0078】以上説明した情報記録装置 S<sub>1</sub> によれば、部分記録情報毎の CELTC データ S J C と当該 CELTC データ S J C に対応する PTS データ S J T とを含む再生付加情報 S J が記録情報とともに記録されるので、再生時

において、復調され伸張された映像情報に対する経過時間情報の多重が容易になる。また、CELTC データ S<sub>JC</sub> が、各部分記録情報毎にその先頭でリセットされているので、部分記録情報の記録順序と異なる順序で再生する場合でも、各部分記録情報における CELTC データ S<sub>JC</sub> を加算することにより、再生された記録情報全体に対応した正しい経過時間情報を表示することができる。

【0079】更に、再生付加情報 S<sub>J</sub> 並びに部分記録情報毎の再生時間及び記録情報中の部分記録情報開始アドレスを含む構造付加情報 I<sub>J</sub> が記録情報とともに記録されるので、再生時に、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、PTS を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0080】更にまた、再生時において、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、PTS を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

#### (II) 情報再生装置

次に、請求項 4 乃至 7 に記載の発明に対応する情報再生装置の構成及び動作について図 6 乃至図 9 を用いて説明する。

【0081】始めに、図 6 及び図 7 を用いて、実施例に係る情報再生装置の構成について説明する。図 6 に示すように、実施例に係る情報再生装置 S<sub>2</sub> は、上述の情報記録装置 S<sub>1</sub> により圧縮多重信号 S<sub>R</sub> に構造付加情報 I<sub>J</sub> 及び再生付加情報 S<sub>J</sub> を含む付加情報信号 S<sub>A</sub> が多重（付加）されてディスク記録信号 S<sub>M</sub> として記録されている光ディスク DK から当該ディスク記録信号 S<sub>M</sub> を検出し、検出信号 S<sub>pu</sub> として出力する検出手段としての光ピックアップ 10 と、読み出された検出信号 S<sub>pu</sub> を一定のスレッシュホールド（閾値）によって 2 値化して 2 値信号 S<sub>B</sub> として出力する 2 値化器 11 と、2 値信号 S<sub>B</sub> に対して復調及びエラー訂正を行い、復調信号 S<sub>L</sub> として出力するとともに、2 値信号 S<sub>B</sub> から構造付加情報 I<sub>J</sub> に対応する構造付加情報信号 S<sub>IJ</sub> を抽出する抽出手段としての復調器 12 と、復調信号 S<sub>L</sub> に対して MPEG 方式により伸張処理を行い、D/A 変換して出力映像信号 S<sub>A0</sub> 及び出力音声信号 S<sub>V0</sub> として出力する信号処理部 13 と、2 値信号 S<sub>B</sub> からクロック成分を検出し、検出クロック信号 CLK<sub>p</sub> として出力するクロック成分検出器 14 と、検出クロック信号 CLK<sub>p</sub> と後述の発振器 17 からの基準クロック信号 CLK とを位相比較して比較信号とし、当該比較信号から高域成分を除去し、スピンドルモータ 16 の回転数制御信号 S<sub>sp</sub> として出力する LPF（Low Pass Filter）を含む位相比較器 15 と、回転数制御信号 S<sub>sp</sub> に基づく回転数制御の下、光ディスク DK を回転するスピンドルモータ 16 と、情報再生装置 S<sub>2</sub>

を構成する各部材相互間のタイミング同期を取るための基準クロック信号 CLK を出力する発振器 17 と、情報再生装置 S<sub>2</sub> 全体の制御を行うとともに、構造付加情報信号 S<sub>IJ</sub> に対応する構造付加情報 I<sub>J</sub> を記憶し、これを用いてリモコン 18 から入力された再生すべき再生位置を指定する指定信号 S<sub>L</sub> 及び復調器 11 から出力される現在再生中の記録情報のアドレスに対応するアドレス信号 S<sub>A0</sub> に基づいて、当該指定信号 S<sub>L</sub> により指定された再生位置に対応する部分記録情報を再生するためのスピンドル制御信号 S<sub>E</sub> 及びスライダ制御信号 S<sub>X</sub> を出力し、更に、記録情報の再生における総経過時間を示す総経過時間信号 S<sub>AT</sub> を表示手段としての表示部 19 に出力するコントローラ 20 と、により構成されている。また、コントローラ 20 は、信号処理部 13 を制御するためのコントロール信号 S<sub>CT</sub> を信号処理部 13 との間で授受しており、信号処理部 13 からコントローラ 20 に送られるコントロール信号 S<sub>CT</sub> の中には信号処理部 13 で抽出される再生付加情報 S<sub>J</sub> に対応する再生付加情報信号 S<sub>SJ</sub> が含まれている。また、光ピックアップ 10 は、スライダ制御信号 S<sub>X</sub> に基づく図示しないスライダの動作により光ディスク DK 上を移送され、再生すべき記録情報を再生する。

【0082】ここで、コントローラ 20 が、総経過時間算出手段、再生部分記録情報検出手段、制御手段、部分記録情報開始位置検出手段として機能する。また、図 7 に示すように、信号処理部 13 は、復調器 12 からの復調信号 S<sub>L</sub> から各種ヘッダを取り出すとともに、ビデオ信号 S<sub>V</sub> とオーディオ信号 S<sub>U</sub> とに分離するシステムデコーダ 21 と、オーディオ信号 S<sub>U</sub> を伸張してオーディオ伸張信号 S<sub>AE</sub> を出力するオーディオデコーダ 22 と、オーディオ伸張信号 S<sub>AE</sub> を D/A 変換して出力音声信号 S<sub>A0</sub> を出力する D/A コンバータ 24 と、ビデオ信号 S<sub>V</sub> を伸張してビデオ伸張信号 S<sub>VE</sub> を出力するビデオデコーダ 23 と、ビデオ伸張信号 S<sub>VE</sub> に後述のタイムコード多重信号 S<sub>TCJ</sub> を多重し、ビデオ多重信号 S<sub>VT</sub> を出力する多重部 25 と、ビデオ多重信号 S<sub>VT</sub> を D/A 変換して出力映像信号 S<sub>V0</sub> を出力する D/A コンバータ 26 と、後述の信号処理コントローラ 27 からの再生タイムコード T<sub>TP</sub> 及びタイムスタート信号 S<sub>TS</sub> に基づき、タイムコード多重信号 S<sub>TCJ</sub> を出力するタイムコードバッファ 28 と、発振器 17 からの基準クロック信号 CLK に基づき、信号処理部 13 全体を制御するとともに、コントローラ 20 との間で再生付加情報信号 S<sub>SJ</sub> を含むコントロール信号 S<sub>CT</sub> の授受を行う経過時間情報多重手段としての信号処理コントローラ 27 と、により構成されている。

【0083】ここで、コントロール信号 S<sub>CT</sub> の制御に基づく信号処理部 13 による出力映像信号 S<sub>V0</sub> 及び出力音声信号 S<sub>A0</sub> の出力については、再生すべき部分記録情報を再生するために当該部分記録情報が記録されている位



置にスライダ制御信号  $S_x$  により光ピックアップ10を移送している間は、出力映像信号  $S_{v0}$  については、移送直前の画像が静止画として出力され、出力音声信号  $S_{a0}$  の出力については中断することとなる。

【0084】更に、上記情報記録装置  $S_1$  による記録においては、再生時にクロックが自己抽出することができるよう、ディスク記録信号  $S_{\text{L}}$  が変調されているので、クロック成分検出器14において、抽出クロック信号  $CLK_p$  を検出することができる。

【0085】次に、情報再生装置  $S_2$  の動作について、構造付加情報  $I_J$  及び再生付加情報  $S_J$  を用いた再生動作を中心に図6乃至図9を用いて説明する。始めに再生付加情報  $S_J$  を用いた再生動作について、信号処理部13の動作とともに説明する。

【0086】図7に示すように、信号処理部13においては、復調器12からの復調信号  $S_L$  がシステムデコーダ21に入力される。このとき、復調信号  $S_L$  は、映像信号（ビデオ信号）と音声信号（オーディオ信号）が多重されている。そして、システムデコーダ21は、復調信号  $S_L$  から各種ヘッダを抽出し、更に、ビデオ信号  $S_v$  とオーディオ信号  $S_{\text{u}}$  とに分離する。このとき、ビデオ信号  $S_v$  とオーディオ信号  $S_{\text{u}}$  は圧縮されたままの状態である。このビデオ信号  $S_v$  とオーディオ信号  $S_{\text{u}}$  は、それぞれ個別にオーディオデコーダ22とビデオデコーダ23に出力され、それぞれ伸張処理が施されてオーディオ伸張信号  $S_{\text{AE}}$  及びビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  として出力される。そして、オーディオ伸張信号  $S_{\text{AE}}$  は、D/Aコンバータ24に出力されD/A変換されて出力音声信号  $S_{a0}$  として出力され、図示しない所定のアンプ等により音声として出力される。一方、ビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  は多重部25に出力され、後述のタイムコード多重信号  $S_{\text{TCJ}}$  と多重されてビデオ多重信号  $S_{\text{VT}}$  としてD/Aコンバータ26に出力されてD/A変換され、出力映像信号  $S_{v0}$  として図示しないモニタ等に表示される。

【0087】これらの処理と並行して、システムデコーダ21は、各種ヘッダを抽出する際に、復調信号  $S_L$  に含まれるパケットヘッダ内のPTSを取りだし、PTS信号  $S_T$  として信号処理コントローラ27に出力する。更に、これと並行してシステムデコーダ21は、付加パケットPD内の再生付加情報  $S_J$  を取り出し、その中に含まれるCELTCデータ  $S_{\text{J C}}$  と当該CELTCデータ  $S_{\text{J C}}$  に対応するPTSデータ  $S_{\text{J T}}$  を経過時間信号  $S_{\text{TT}}$  として信号処理コントローラ27に出力する。ここで、再生付加情報  $S_J$  は、上述のように各GOPの一つしか含まれていないので、各GOPの先頭で再生されるピクチャに対応するフレーム以外のフレームに対応する経過時間情報は、信号処理コントローラ27においてフレーム毎の増分により計算される。このように生成された経過時間情報は、再生タイムコード  $T_{\text{TP}}$  としてタイムコードバッファ28に出力され、一時的に記憶される。そして、

信号処理コントローラ27は、PTS信号  $S_T$  に基づき、オーディオ信号  $S_{\text{u}}$  及びビデオ信号  $S_v$  並びに経過時間信号  $S_{\text{TT}}$  に含まれる再生付加情報  $S_J$  のそれぞれのPTSを参照して、同じPTSを有するオーディオ信号  $S_{\text{u}}$  及びビデオ信号  $S_v$  並びに再生タイムコード  $T_{\text{TP}}$  を同時に出力させるべく、オーディオデコーダ22、ビデオデコーダ23及びタイムコードバッファ28に対してそれぞれオーディオスタート信号  $S_{\text{AS}}$ 、ビデオスタート信号  $S_{\text{VS}}$  及びタイムスタート信号  $S_{\text{TS}}$  を出力する。このビデオスタート信号  $S_{\text{VS}}$  及びタイムスタート信号  $S_{\text{TS}}$  により、ビデオデコーダ23はビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  を出力し、タイムコードバッファ28は、ビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  に含まれる映像信号に対応するタイムコード多重信号  $S_{\text{TCJ}}$  を出力し、これらが多重部25により多重されることとなる。このとき、PTSを基準として対応するビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  とタイムコード多重信号  $S_{\text{TCJ}}$  が同時に出力されて多重されるので、ビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  に対して正しいタイムコードを多重することができる。

【0088】ここで、システムデコーダ21により取り出される再生付加情報  $S_J$  に含まれる経過時間情報（CELTCデータ  $S_{\text{J C}}$ ）は、各部分記録情報の先頭でリセットされるので、ビデオ伸張信号  $S_{\text{VE}}$  に多重されるタイムコードも、各部分記録情報の先頭で「0」とされることとなる。また、信号処理コントローラ27は、内部に図示しないタイムコードカウンタを備えており、このカウンタが再生付加情報中の経過時間情報（CELTCデータ  $S_{\text{J C}}$ ）によってプリセットされ、ピクチャに対応する映像フレームが変化する度に増分される。

【0089】一方、再生付加情報  $S_J$  は、信号処理コントローラ27からコントロール信号  $S_{\text{CT}}$  としてコントローラ20に出力される。以上の処理の結果、各部分記録情報毎に経過時間情報を付加した結果について、図16に示すような対話型の記録情報に経過時間情報を付加した結果を図8(a)に示す。図8(a)に示すように、各部分記録情報120乃至123においては、各部分記録情報毎に、当該部分記録情報内で連続するとともに、各部分記録情報の先頭でリセットされ、「0」とされる経過時間情報（0, 1, 2, ……）が付加されている。

【0090】そこで、図8(a)に示す対話型の記録情報について、記録情報の最初からの経過時間を表示する場合には、例えば、図8(b)に示すように、「問題1」を示す部分記録情報120の次に入力された答えが「正解1」に対応するものであれば、「正解1」を示す部分記録情報121における経過時間に、「問題1」を示す部分記録情報120の最後の経過時間が加算されたものが当該「正解1」を示す部分記録情報121における経過時間とされる。同様に、「正解1」を示す部分記録情報121の次の「問題2」を示す部分記録情報123においては、「正解1」を示す部分記録情報121の最後の経過時間に「問題2」を示す部分記録情報123



の経過時間を加算したものが当該「問題2」を示す部分記録情報123における経過時間とされる。図8(c)に示す場合も同様に、「問題1」を示す部分記録情報120、「間違い1」を示す部分記録情報122、「問題2」を示す部分記録情報123の順に経過時間が加算される。この加算動作は、コントロール信号 $S_{CT}$ としてコントローラ20に入力される再生付加情報 $S_J$ に基づき、コントローラ20により行われ、記録情報を再生したときの総経過時間を示す総経過時間信号 $S_{AT}$ として表示部19に出力され、記録情報の再生経路に拘らず正しい総経過時間が表示される。なお、本実施例においては、経過時間情報を含むタイムレコード多重信号 $S_{TC}$ をビデオ伸張信号 $S_{VE}$ に多重するようにしたが、上述のように各部分記録情報毎の経過時間を加算して総経過時間情報を求め、これをビデオ伸張信号 $S_{VE}$ に多重し、出力映像信号 $S_{AD}$ の表示とともに総経過時間を表示するようにしてもよい。

【0091】次に、構造付加情報 $I_J$ を用いた再生動作について図9を用いて説明する。上述のように構造付加情報 $I_J$ は、復調部12において抽出され、構造付加情報信号 $S_{IJ}$ としてコントローラ20に出力されて記憶されている。

【0092】この構造付加情報 $I_J$ は、図9(a)に示すような対話型でない記録情報の場合には、図9(b)に示すように記述されている。ここで、例えば、図9(a)に示す記録情報の再生開始から「x」なる時間（「x」なる時間は、図9(a)において、第3章の途中であるとする。）の部分にアクセスする旨の指定信号 $S_L$ がリモコン18から入力されると、コントローラ20は、以下のような動作を行う。

【0093】(1) 構造付加情報 $S_J$ （図9(b)）に含まれている再生時間データ $I_{JT}$ に基づき、 $(m+n) < x < (m+n+k)$ より、「x」なる時間に対応する記録情報が第3章に含まれていることを検出する。

【0094】(2) 構造付加情報 $S_J$ （図9(b)）に含まれている開始アドレスデータ $I_{JS}$ に基づき、第3章の開始アドレス「C」を取得する。

(3)  $a = x - m - n$ を計算して第3章に対応する部分記録情報の再生付加情報 $S_J$ 内の経過時間情報（CELTCデータ $S_{JC}$ ）が「a」の位置を検出し、その位置に対応する光ディスクDK上の位置に光ピックアップ10を移送すべくスライダ制御信号 $S_X$ を出力する。

【0095】(4) 第3章中の経過時間「a」の位置から再生を開始する。

以上が対話型でない場合の構造付加情報 $I_J$ を用いた再生動作である。次に、図8に示すような対話型の記録情報の場合の構造付加情報 $I_J$ を用いた再生動作を説明する。

【0096】図8に示すような対話型の記録情報の場合

には、構造付加情報 $I_J$ は、図9(c)に示すように記述される。ここで、例えば、図8に示す記録情報の「問題2」の再生開始から「y」なる時間の部分にアクセスする旨の指定信号 $S_L$ がリモコン18から入力されると、コントローラ20は、以下のような動作を行う。

【0097】(1) 構造付加情報 $S_J$ （図9(c)）に含まれている開始アドレスデータ $I_{JS}$ に基づき、問題2の開始アドレス「d」を取得する。

(2) 問題2に対応する部分記録情報の再生付加情報 $S_J$ 内の経過時間情報（CELTCデータ $S_{JC}$ ）が「d」の位置を検出し、その位置に対応する光ディスクDK上の位置に光ピックアップ10を移送すべくスライダ制御信号 $S_X$ を出力する。

【0098】(3) 問題2中の経過時間「d」の位置から再生を開始する。

以上が対話型の記録情報の場合の構造付加情報 $I_J$ を用いた再生動作である。以上説明したように、再生付加情報 $S_J$ 及び構造付加情報 $I_J$ を用いた情報再生装置 $S_2$ の再生動作によれば、再生付加情報 $S_J$ に含まれる経過時間情報（CELTCデータ $S_{JC}$ ）が、対応するPTSに基づき伸張された映像信号に多重されるので、映像信号と経過時間情報との多重を容易に行うことができ、情報再生装置 $S_2$ における信号処理コントローラ27の負担を増加することなく復調され伸張された映像情報に対して経過時間情報を多重することができる。

【0099】また、経過時間情報が、各部分記録情報毎にその先頭でリセットされ、部分記録情報の再生順に加算されて総経過時間として表示されるので、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも再生された記録情報全体に対応した正しい総経過時間を表示することができる。

【0100】従って、対話型の記録情報を再生する場合でも、正しい総経過時間を表示することができる。更に、再生付加情報 $S_J$ 並びに構造付加情報 $I_J$ が記録情報とともに検出されるので、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、PTSを基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0101】更にまた、記録情報の再生において、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、PTSを基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

#### (III) 変形形態

上述の実施形態においては、構造付加情報 $I_J$ を光ディスクの最内周部分に記録したが、本発明は、これに限られるものではなく、一枚の光ディスクに複数の記録情報

がある場合には、それらを例えば、ISO (International Organization for Standardization) 9660に準拠したファイル形式にし、各々のファイルの先頭に構造付加情報IJを記述してもよい。

【0102】更に、リモコン18は、キーボード等であってもよい。

【0103】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に記載の発明によれば、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報が記録情報とともに記録されるので、再生時において、復調され伸張された映像情報に対する経過時間情報の多重が容易になる。

【0104】また、経過時間情報が、各部分記録情報毎にその先頭でリセットされているので、部分記録情報を記録順序と異なる順序で再生する場合でも、各部分記録情報における経過時間情報を加算することにより、再生された記録情報全体に対応した正しい経過時間情報を表示することができる。

【0105】請求項2に記載の発明によれば、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報並びに部分記録情報毎の再生時間及び記録情報中の部分記録情報開始位置を含む構造付加情報が記録情報とともに記録されるので、再生時に、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生すべき再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0106】請求項3に記載の発明によれば、請求項2に記載の発明の効果に加えて、再生付加情報中の経過時間情報が各部分記録情報の先頭でリセットされているので、再生時において、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0107】請求項4に記載の発明によれば、経過時間情報が、各部分記録情報毎にその先頭でリセットされ、部分記録情報の再生順に加算されて総経過時間として表示されるので、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも再生された記録情報全体に対応した正しい総経過時間を表示することができる。

【0108】従って、対話型の記録情報を再生する場合でも、正しい総経過時間を表示することができる。請求項5に記載の発明によれば、請求項4に記載の発明の効果に加えて、再生付加情報に含まれる経過時間情報が、対応する時間軸情報に基づき伸張された映像信号に多重されるので、映像信号と経過時間情報との多重を容易に行うことができる。

【0109】従って、情報再生装置におけるコントローラ等の信号処理手段の負担を増加することなく復調され伸張された映像情報に対して経過時間情報を多重することができる。

【0110】請求項6に記載の発明によれば、部分記録情報毎の経過時間情報と当該経過時間情報に対応する時間軸情報とを含む再生付加情報並びに部分記録情報毎の再生時間及び記録情報中の部分記録情報開始位置を含む構造付加情報が記録情報とともに検出されるので、記録情報の再生開始位置を起算点とした所望の再生すべき再生位置が外部から入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【0111】請求項7に記載の発明によれば、記録情報の再生において、部分記録情報毎に記録順序と再生順序が異なった場合でも、再生付加情報中の経過時間情報が各部分記録情報の先頭でリセットされているので、部分記録情報の開始位置を起算点とする所望の再生位置が入力されたとき、当該再生位置を含む部分記録情報を検出することができるとともに、時間軸情報を基準として当該再生位置に対応する記録情報を迅速に再生することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態に係る情報記録装置の概要構成ブロック図である。

【図2】構造付加情報を説明する図であり、(a)はその構造を示す図であり、(b)はスタンパディスク上の記録位置を示す図である。

【図3】再生付加情報を説明する図であり、(a)はその構造を示す図であり、(b)はCELT CデータSJCの構造を示す図である。

【図4】GOPとパケットの関係を示す図であり、(a)は圧縮映像信号中におけるGOPを示す図であり、(b)は一のGOP中を構成するピクチャを示す図であり、(c)は一のGOPをパケットに分割した状態を示す図である。

【図5】PTSの付加位置を説明する図であり、(a)はGOPとPTSの関係を示す図であり、(b)は情報付加多重圧縮信号とPTSの関係を示す図である。

【図6】実施形態に係る情報再生装置の概要構成ブロック図である。

【図7】信号処理部の概要構成ブロック図である。

【図8】対話型記録情報におけるタイムコードの形成を示す図であり、(a)は部分記録情報毎の経過時間情報を示す図であり、(b)は入力された答えが「正解1」に対応する場合の記録情報全体のタイムコードを示す図であり、(c)は入力された答えが「間違い1」に対応する場合の記録情報全体のタイムコードを示す図である。

【図9】構造付加情報を用いたアクセスを説明する図であり、(a)は対話型でない記録情報の場合の部分記録情報毎の経過時間情報を示す図であり、(b)は(a)に示された記録情報に対応する構造付加情報の構成の一例を示す図であり、(c)は図8に示される対話型記録情報の場合の構造付加情報の構成の一例を示す図である。

【図10】GOPを構成するフレーム画像を示す図である。

【図11】GOPのデータ発生量を示す図であり、(a)は各GOPのデータ発生量が一定である場合を示す図であり、(b)は各GOPのデータ発生量が可変である場合を示す図である。

【図12】多重ストリームの形成を説明する図である。

【図13】映像ストリームと音声ストリームの同期を説明する図である。

【図14】GOPヘッダ内のタイムコードの構成を示す図である。

【図15】従来技術の信号処理部の概要構成ブロック図である。

【図16】対話型記録記録情報の再生と記録を説明する図であり、(a)は再生の様子を説明する図であり、(b)は記録の様子を説明する図である。

【符号の説明】

1…VTR  
2…メモリ  
3…信号処理部  
4…ハードディスク装置  
5…FD装置  
6、20…コントローラ  
7…多重器  
8…変調器  
9…マスタリング装置  
10…光ピックアップ  
11…2値化器  
12…復調器  
13、S'…信号処理部  
14…クロック成分抽出器  
15…位相比較器  
16…スピンドルモータ  
17…発振器  
18…リモコン  
19…表示部  
21、110…システムデコーダ  
22、111…オーディオデコーダ  
23、112…ビデオデコーダ  
24、26、113、115…D/Aコンバータ  
25、114…多重部  
27、116…信号処理コントローラ  
28…タイムコードバッファ

100、101、102、103…GOP  
120、121、122、123…部分記録情報  
DKS…スタンパディスク  
DK…光ディスク  
S<sub>1</sub>…情報記録装置  
S<sub>2</sub>…情報再生装置  
S<sub>I</sub>…内容信号  
S<sub>P</sub>…位置信号  
S<sub>AC</sub>…内容情報信号  
S<sub>R</sub>…圧縮多重信号  
S<sub>A</sub>…付加情報信号  
S<sub>C</sub>…情報選択信号  
S<sub>AP</sub>…情報付加多重圧縮信号  
S<sub>M</sub>…ディスク記録信号  
S<sub>PU</sub>…検出信号  
S<sub>X</sub>…スライダ制御信号  
S<sub>E</sub>…スピンドル制御信号  
S<sub>SP</sub>…回転数制御信号  
S<sub>B</sub>…2値信号  
S<sub>AD</sub>…アドレス信号  
S<sub>IJ</sub>…構造付加情報信号  
S<sub>Z</sub>…指定信号  
S<sub>AT</sub>…総経過時間信号  
S<sub>L</sub>…復調信号  
S<sub>AO</sub>…出力映像信号  
S<sub>VO</sub>…出力音声信号  
S<sub>CT</sub>…コントロール信号  
CLK…基準クロック信号  
CLK<sub>P</sub>…検出クロック信号  
T<sub>T</sub>…タイムコード  
T<sub>TP</sub>、T<sub>T</sub>'…再生タイムコード  
S<sub>TT</sub>…経過時間信号  
S<sub>T</sub>…PTS信号  
S<sub>U</sub>…オーディオ信号  
S<sub>V</sub>…ビデオ信号  
S<sub>AS</sub>…オーディオスタート信号  
S<sub>VS</sub>…ビデオスタート信号  
S<sub>TS</sub>…タイムスタート信号  
S<sub>TCJ</sub>…タイムコード多重信号  
S<sub>VE</sub>…ビデオ伸張信号  
S<sub>AE</sub>…オーディオ伸張信号  
S<sub>VT</sub>…ビデオ多重信号  
IJ…構造付加情報  
IJT…再生時間データ  
IJS…開始アドレスデータ  
SJ…再生付加情報  
SJP…paket start code prefix データ  
SJS…stream id データ  
SJL…PES packet length データ  
SJT…PTS of applied videoデータ SJT

(18)

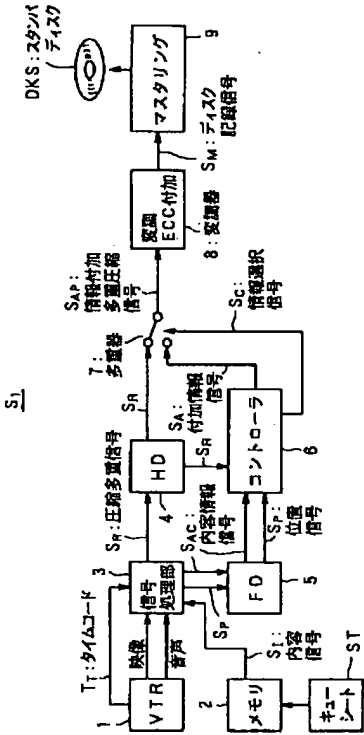
S J C...CELTC データ  
P V...圧縮映像信号  
P...パケット  
P H...パケットヘッダ  
S F...スタッフィング領域

P D...付加パケット  
P V...映像パケット  
P A...音声パケット  
H<sub>G</sub>...GOPヘッダ

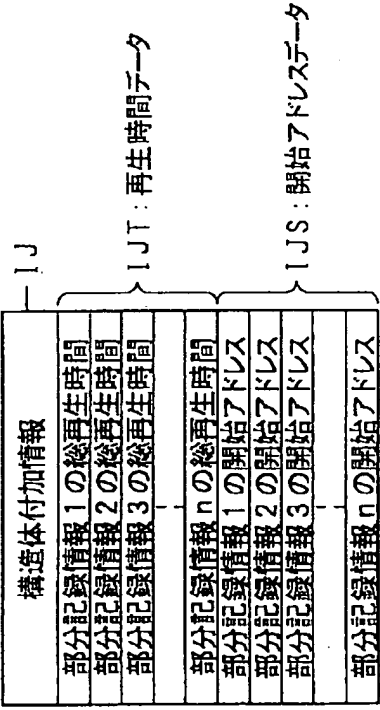
【図1】

【図2】

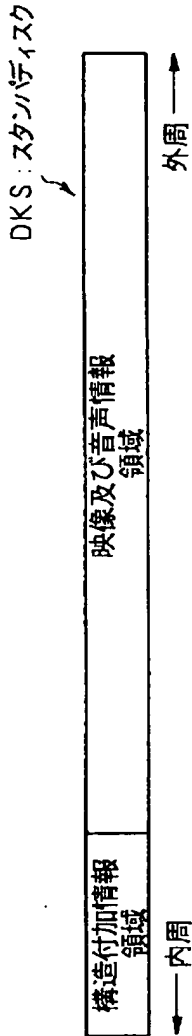
実施形態に係る情報記録装置の概要構成ブロック図



構造体付加情報の説明



(a)



(b)

【図3】

再生付加情報の説明

SJ: 再生付加情報

	field	No of bits	value
SJP	packet_start_code_prefix	24	000001h
SJS	stream_id	8	BFh
SJL	PES_packet_length	16	
SJT	PTS_of_applied_video	32	
SJC	CELTC	32	

(a)

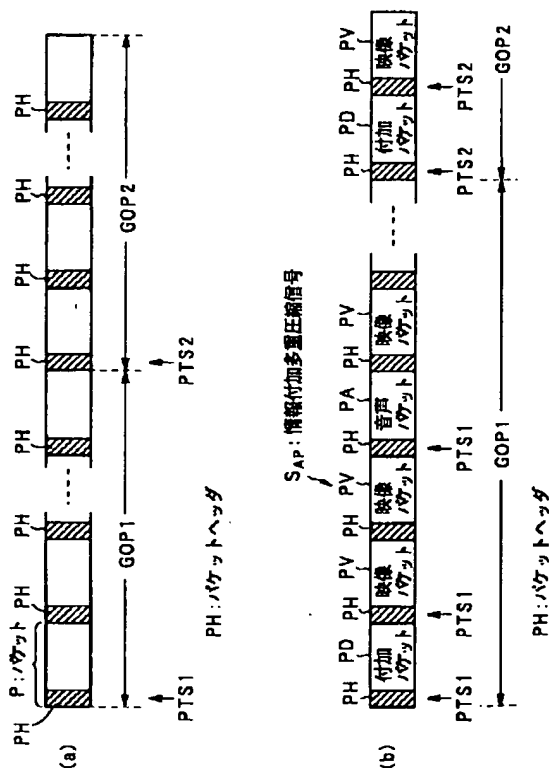
CELTCデータSJC

b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
時間(10の位)				時間(1の位)			
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
分(10の位)				分(1の位)			
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
秒(10の位)				秒(1の位)			
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
フレーム(10の位)				フレーム(1の位)			

(b)

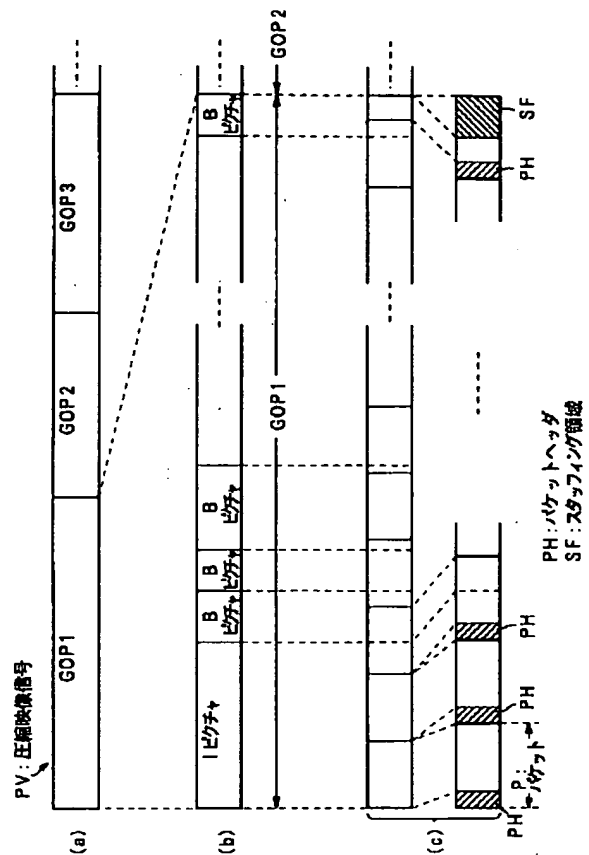
【図5】

PTSの付加位置の説明



【図4】

GOPとパケットの関係



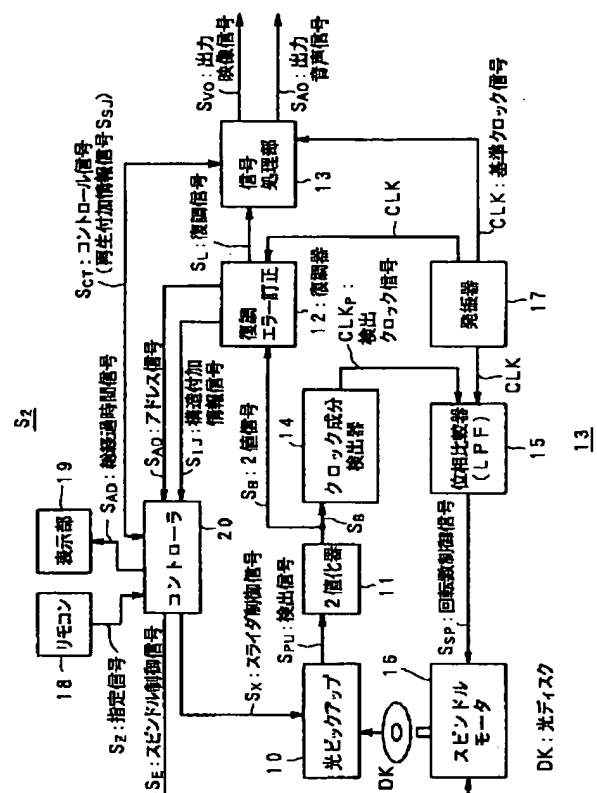
【図14】

GOPヘッダ内のタイムコードの構成

time code	range of value	No. of bits
drop frame flag		1
time code hours	0-23	5
time code minutes	0-59	6
marker bit	1	1
time code seconds	0-59	6
time code pictures	0-59	6

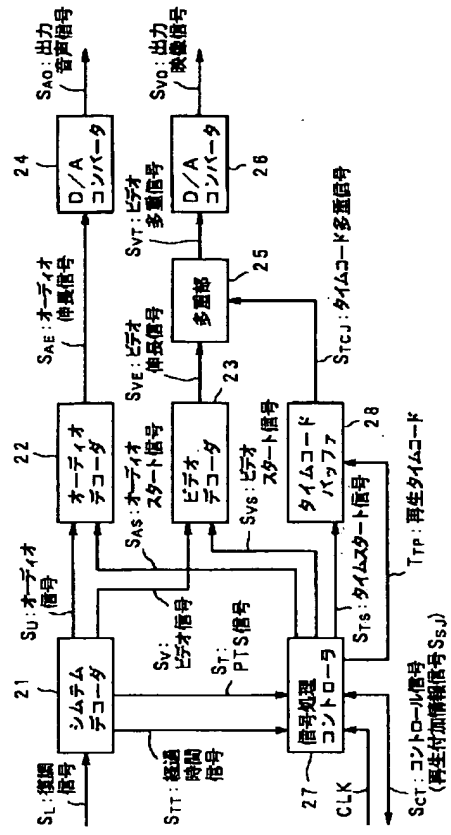
【図6】

実施形態に係る情報再生装置の概要構成ブロック図



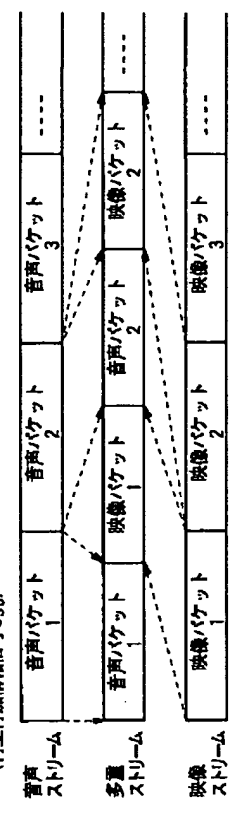
【図7】

信号処理部の概要構成ブロック図



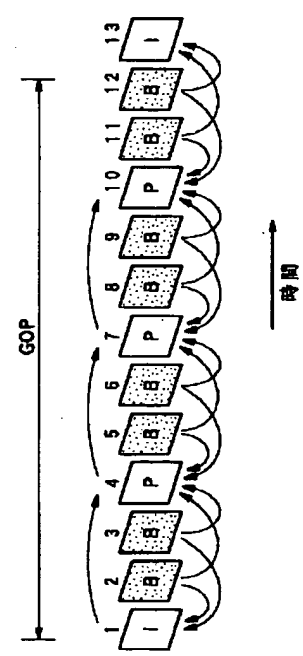
【図12】

多重ストリームの形成



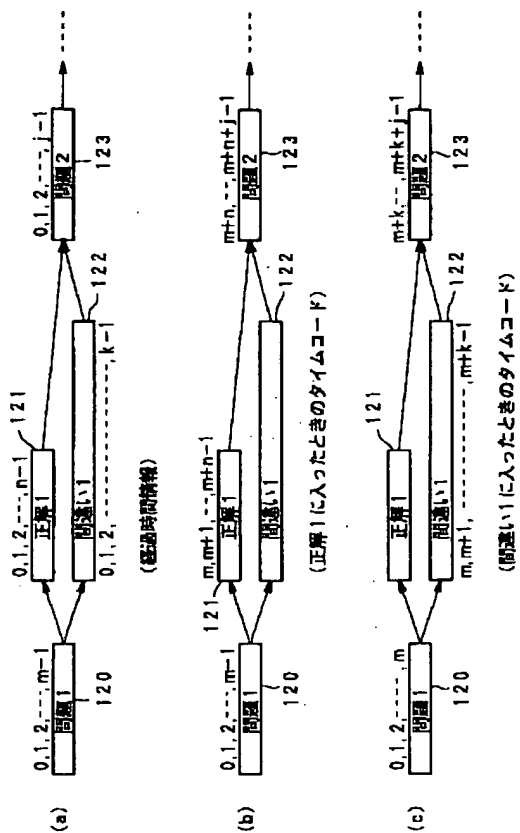
【図10】

GOPを構成するフレーム画像



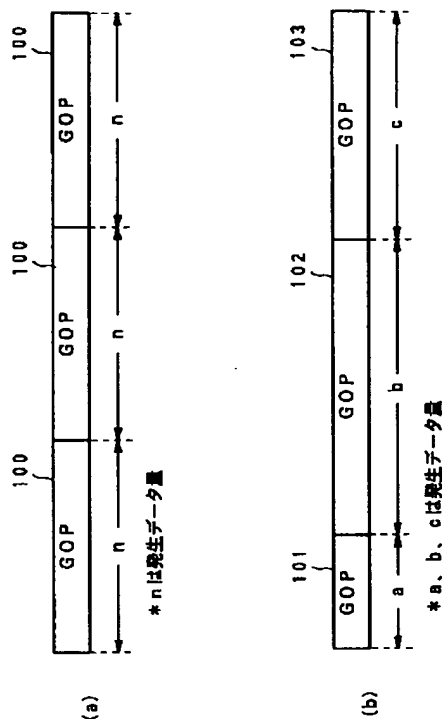
【図8】

対話型記録情報におけるタイムコードの形成



【図11】

GOPのデータ発生量





【図9】

構造体付加情報を用いたアクセスの説明

(a)

経過時間	0, 1, 2, ..., m-1	0, 1, 2, ..., n-1	0, 1, 2, ..., k-1	0, 1, 2, ..., j-1
	第1章	第2章	第3章	第4章

内容	値
第1章総再生時間	m
第2章総再生時間	n
第3章総再生時間	k
第4章総再生時間	j
第1章開始アドレス	A
第2章開始アドレス	B
第3章開始アドレス	C
第4章開始アドレス	D

SJ: 構造体付加情報

IJT: 再生時間データ

IJS: 開始アドレスデータ

(b)

内容	値
問題1総再生時間	m
正解1総再生時間	n
間違い1総再生時間	k
問題2総再生時間	j
問題1開始アドレス	a
正解1開始アドレス	b
間違い1開始アドレス	c
問題2開始アドレス	d

SJ

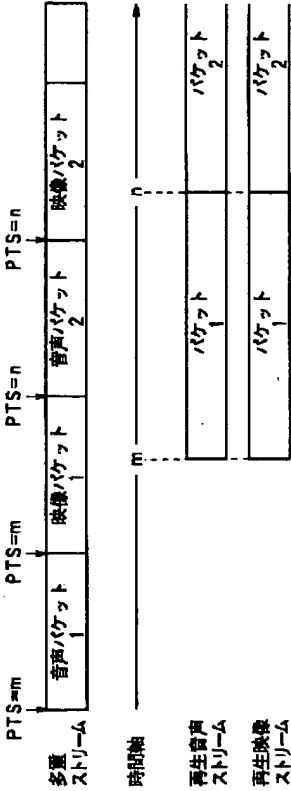
IJT

IJS

(c)

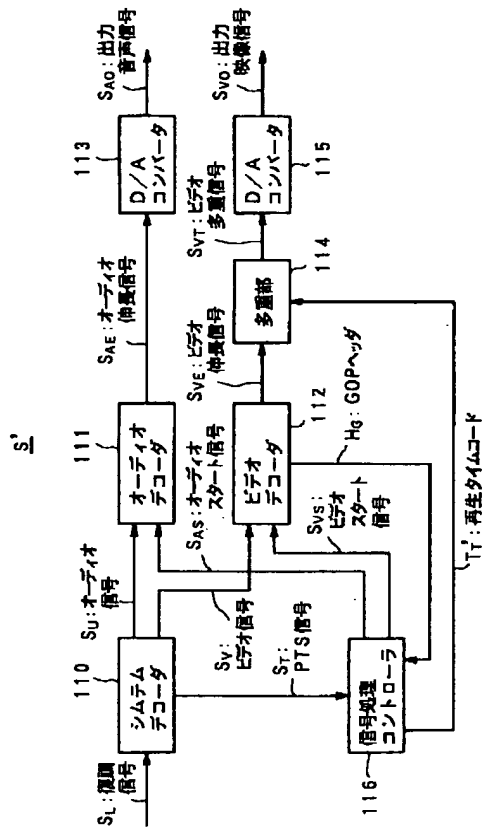
【図13】

映像ストリームと音声ストリームの同期



【図15】

従来技術の信号処理部の構成ブロック図



【図16】

対照型記録情報の再生と記録

